

1 月臨時教育委員会会議録

公開案件

開催日時	令和3年1月8日（金） 午前10時から	
開催場所	奈良市役所 中央棟地下1階 地下会議室	
出席者	委員	北谷教育長、都築委員、畑中委員、柳澤委員、梅田委員 【計5人出席】
	事務局	五味原課長補佐、小林主任、井関、福岡
	理事者	【教育委員会】 立石教育部長、増田教育部次長、廣岡教育部次長、小林教育政策課長、細川地域教育課長 【市長部局】 佐藤保健所長、國友危機管理監
開催形態	公開（傍聴人 2人）	
議題	1 請願 請願第1号 「令和3年1月11日に予定されている成人式の延期等の適切な措置を求める」 請願	
決定取り纏め事項	1 請願 請願第1号 「令和3年1月11日に予定されている成人式の延期等の適切な措置を求める」 請願については、不採択とした。	
担当課	教育委員会 地域教育課	
議事の内容		
教育長	それでは、皆さん、おそろいでしょうか。	
教育部長	本日、案件の関係者として、保健所長と危機管理監を出席させたいと思いますが、よろしいでしょうか。	

教 育 長	<p>はい、結構です。</p> <p>それでは、始めさせていただきます。</p> <p>本日の案件は公開とさせていただきます。</p> <p>また、本日は臨時教育委員会であるため、本件に関する関係部課長のみの審議といたします。</p> <p>それでは、事務局より資料の説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>本日の資料につきましては、お手元に配付させていただいております資料のとおりでございます。</p>
教 育 長	<p>本日の委員会は全員が出席しており、委員会は成立します。</p> <p>ただいまから、1月臨時教育委員会を開会いたします。</p> <p>本日の会議録署名委員は、私と梅田委員でお願いします。</p> <p>案件に入る前に、竹内涼香様ほか1名から傍聴の申出があり、傍聴規則第2条及び第3条の規定に基づき2名の傍聴券を交付いたしましたので、ご報告を申し上げます。</p> <p>それでは、傍聴人の方を傍聴席へご案内ください。</p> <p>それでは、本日の案件に入ります。</p> <p>本日、教育委員会に請願書が提出されております。</p> <p>請願は、請願法第5条において「請願は、官公署において、これを受理し、誠実に処理しなければならない。」とされております。したがって、教育委員会ではこのことを受け、本日の臨時教育委員会会議で審議を行いたいと思います。</p> <p>また、請願者より本会議で陳述することができる機会を設けるようにとの要望でありますので、陳述を前提として請願者の出席を許可したいと思いますのですが、よろしいでしょうか。</p>
教 育 委 員	<p>結構です。</p>
教 育 長	<p>それでは、請願者の出席を許可します。</p> <p>請願の審議を始めますので、請願者は入室してください。</p>
事 務 局	<p>事務局からご連絡いたします。</p> <p>請願者から資料の提出がございましたので、配付させていただいてよろしいでしょうか。</p>
教 育 長	<p>よろしいですか。</p>
教 育 委 員	<p>結構です。</p>

教 育 長

それでは、配布願います。

資料が行き渡りましたので、進めさせていただきます。

まず、請願第1号「令和3年1月11日に予定されている成人式の延期等の適切な措置を求める」請願の概要について、請願内容の主管課である地域教育課より報告願います。

地域教育課長

本請願は、奈良市議会議員三橋和史氏より令和3年1月6日に奈良市教育委員会宛に提出されたものでございます。

請願の要旨につきましては、新型コロナウイルス感染症のさらなる感染拡大を防止するため、令和3年1月11日に予定されている成人式の延期等の適切な措置を求める請願であります。

なお、請願の理由につきましては、お手元に配付させていただいております請願書のとおりでございます。

教 育 長

それでは、審議に入る前に、現在の新型コロナウイルス感染症感染状況について、危機管理監に説明をお願いします。

危機管理監

危機管理監の國友です。

それでは、現在の感染状況につきまして、全国の状況から説明をさせていただきます。昨日、7日木曜日、2日連続で東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県が過去最多を記録しました。東京都では、2,447人の感染者を確認しております。全国におきましても3日連続で過去最多であり、昨日は7,570人の感染者を確認しております。こういった中、昨日、国で緊急事態宣言が発出をされました。東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の1都3県を対象として、本日から2月7日までを期間とするという状況でございます。全国の感染状況を含め注目しておりますのが、直近1週間の人口10万人当たりの感染者数の推移です。昨日までの直近1週間の状況を見てみますと、ステージ4相当、25人以上がステージ4相当ですが、東京都で61.87人、神奈川県で38.26人、栃木県で32.37人、以下、宮崎県、大阪府、千葉県、埼玉県、京都府、福岡県が、この25人を超えている状況です。一方、ステージ3、15人以上ですが、12位で兵庫県、17位で滋賀県、全国平均では24.7程度です。奈良県は、全国19位で、15.49人、奈良市は、16.34人という状況です。

次に、関西2府4県の状況ですが、2日連続で大阪府も過去最多を記録し、607人という状況でした。そのほか、兵庫、京都、滋賀、和歌山も、昨日は過去最多を記録している状況です。そういう中、本日、大阪、兵庫、京都の3県は対策本部会議を開催し、国に緊急事態宣言の発出を要請する方向で決定をされるという報道がなされております。

奈良県及び奈良市の状況です。本市におきましては、5つの指標でこの感染状況をモニタリングしております。すなわち、医療体制等の負荷と

して、1つ、県内の病床使用率、2つ、県内の重傷病床使用率、3つ目が県内の療養者総数。大きい2つ目が、感染の状況です。市内の直近1週間の陽性者数と感染経路不明割合です。この状況を見ますと、年末はかなり医療体制そのものの負荷がかかって、一時期、4相当になる直前まで来ましたが、ここ1週間の状況を見ますと、県内の医療体制の負荷、市内の感染状況ともに落ち着いているという状況です。引き続き危機感を持って確認をさせていただきますが、現状といたしましては、今申しましたとおり、県内の医療体制の負荷、特に市内の感染状況につきましては、ステージで申せば2前後という状況でございます。以上です。

教 育 長

ありがとうございました。

それでは、請願の具体的な内容につきまして、奈良市教育委員会会議規則第20条に基づき、請願者の陳述を認めますので、請願者よりお願いをいたします。時間は5分程度でお願いします。

請 願 者

おはようございます。よろしくお願いいいたします。

本日の臨時の会議を開き、私が提出しました請願のご審議を賜ることになりまして、誠にありがとうございます。まず初めにお礼申し上げます。昨年末から年始にかけて新型コロナウイルス感染症の、いわゆる第3波が押し寄せ、感染拡大の勢いが顕著となってまいりました。成人式の実施の適否については、市長、教育委員会と協議をした上で決定した、何度も協議したという広報をしておりました。

しかしながら、私の調査では、教育委員会は、昨年、令和2年12月22日の定例会を最後に会議が開かれていないということが発覚し、現在の直近の状況を踏まえまして、成人式の実施の適否について、市長による政治的干渉を不当に受けることなく、教育委員会の委員の皆さんのご賢察賜らんとするものであります。

請願書に記載しておりますように、多くの国民が経済的打撃を受ける中で、それでも、それぞれが命を守るため、社会を守るために、行政の呼びかけに応じて自粛要請にも協力し、不自由な生活にも今まさに耐え忍んでいるところであります。新型コロナウイルス感染症対策の警戒レベルとしては、奈良市自身が定めたガイドラインに言うステージ3にありまして、市主催のイベントは原則として中止するという段階にあります。今、危機管理監のほうから現在の医療体制への負荷の程度等の説明がございましたが、成人式を実施した場合に医療体制に対して負荷を与えるのは、今まさに現在の状況の現時点における医療体制に対する負荷を受けるんじゃないかと、10日後、2週間後どうなるかというのが、この1年間の知識の蓄積を受けて判明してきたところでありまして、政府の予測では、この2月までどんどん上昇していく、感染者数も上昇していくというシミュレーションが出ておりますので、その点は適切なご判断をいただきたいと思います。しかも、お手元に示しておりますように、

ある大手紙の新聞記事でございます。奈良県における実際の稼働可能な病床数は、奈良県、また奈良市が発表しているよりも大幅に少ないという事実も発覚しております。実際の病床数、稼働可能な病床数に照らせば、ステージ4としても相当とも言うべき状況であります。これはどうということかといいますと、一般の医療水準に対する医療体制に対して、当然全体のキャパシティーが限られている中で、その他の一般の分野を、言わば犠牲にして、コロナの感染者に対する病床を確保すればという数値を行政が発表しているわけでありまして、現実的には、そもそも奈良県という場所は、地域救急医療、救急車のたらい回しの悲しい事故とかも相次いでございましたけれども、もともと救急救命医療というのは、脆弱な地域であります。そういった意味からいっても、その奈良市の位置する特に北和地域の救急医療を一手に担うとともに、奈良県を担う奈良県総合医療センターにおける重症患者用病床は6床しかないんです。同病院が日頃から救急医療体制が逼迫しております。この地域における医療体制がいかに脆弱であるか、いわゆる母数が6床しかないわけでありまして。感染症患者を一人でも増やしてしまうということは、その他の一般医療の分野をさらに逼迫させるという現実を、まさに考慮していただく必要があります。

東京都では、先般、小学生男子が交通事故に遭遇し、救急要請するも、感染症対応のために逼迫していたことの影響から、最寄りの病院に運ばれず、受入れを拒否され続け、受入れ病院は現場から何十分も要する距離にある病院となってしまう、この男児は命を落としてしまいました。東京都だから発生したのではありません。奈良市における医療体制は、先ほども申し上げましたように、もともと脆弱であるがゆえに、一人でも多くの患者を出してしまうと、それだけ医療体制に与える影響は、全体に占める割合を考慮しましても極めて大きいということになります。このような状況に鑑み、人々の往来を誘発して多数人を集合させ、飲食を伴い宴会等の開催を誘発する行事である成人式を予定どおり漫然と開催することは、極めて不適切であります。感染拡大防止のために全力を尽くし、国民の生命と健康を守るべき地方公共団体の使命にももとのものと言わざるを得ません。成人式の挙行中の感染対策を万全にして解決するという方針が、行政からも何度も発表されているところではございますけれども、成人式での成人式に伴う感染機会というのが、成人式の挙行中に発生しやすいというものではなくて、それによりまして、言わば、何年ぶりに再会する友らとともに多くの若者たちが多く集まる機会となります。二十歳といっても、まだまだ社会的経験も少なくまだまだ子どもです。何年ぶりかの地元の友達と会えば、会食もしたくなるでしょうし、誘われれば断り切れないという状況もあるでしょう。宴会だって、強制力を持って中止させることなどもできません。飲食を利用しないことを呼びかけたとしても、それに従っていただける保証もありませんし、異なる方法で接触をする機会を設けようとするのは容易に想

像ができます。感染症は、不用意な行為に及んだ当事者が被害を受けるとは限らず、無関係な第三者の命を奪うことにもつながりかねません。成人式が契機となって一人の感染事例も出さない、一件のクラスターも発生させないという保証が今の奈良市の誰にできるのでしょうか。これにより命を落とす市民が出た場合に誰がどのように責任を取るのでしょうか。医療崩壊につながった場合に一体誰がどのようにして責任を取るのでしょうか。昨日は、首都圏に緊急事態宣言が発令されました。そして、大阪府知事なども、関西にも緊急事態宣言を発令するように政府に要請せざるを得ない状況であるとの見解をいたしました。大阪圏と経済圏を同じくするこの奈良市、奈良県全体の中でも奈良市は特にその傾向が強い地域であります。この地域において、市長は首都圏の1都3県からの参加に限ってこれを参加しないように要請しているところではありますが、その根拠となる前提を誤っております。大阪、京都も同様の状況にあるということでもあります。しかも、その制限をする法的根拠はありません。そのように要請する法的根拠がない中で、1都3県住民を、上京して学問等されている学生の参加をさせないということは、まさに差別につながる、差別的な運営を行政自ら作出しようとすると言うべきであります。差別された首都圏の子供たちが、将来地元奈良に帰って仕事を持ちたい、地元奈良に恩返ししたいと、そういう気になるのでしょうか。答えは、否であります。教育委員の皆さんの責務として、成人式の延期を決定し、国難に対する適切な措置を講じていただきたく請願するものであります。成人式はこの日にしなければいけないというものではありません。何もこの日にしなければならぬものではないものをこの日にして、リスクを発生させるというのは、やはり適切な判断ではないと思います。半年後に延期する自治体もあります。その地域ごとの医療体制の受皿との関係で、適切にご判断をいただきたく、簡単ではございますけれども、請願の説明といたしまして、委員の皆様のご賢察を賜りたくよろしくお願い申し上げます。以上でございます。ありがとうございました。

教 育 長

それでは、今、提出されました請願書について、請願内容の主管課であります地域教育課より事務局としての見解をお述べください。

地域教育課長

それでは、令和3年の奈良市成人式及び成人式を開催するに当たっての感染対策等について説明させていただきます。

まず、「令和3年奈良市成人式実施要項」をご覧ください。既に説明いたしておりましたように、今年度の成人式については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図るため、実施日は例年どおり1月11日の成人の日を予定しておりますが、午前と午後の2部制にし、できるだけ集まる人数を少なくして開催する予定になっております。加えて、開催時間ですが、例年は50分から60分程度であったものを、おおむね3

0分で終わる予定です。

会場は、コンベンションセンターです。

該当者は、11月1日時点で3,527人であり、昨年度とほぼ同様となっております。参加者も昨年度と同様であれば約2,400人程度の参加が見込まれ、それを2分割いたしますので、1回当たり1,200人程度と予想できます。なお、2部に分けるに当たっては、午前の部、午後の部で、奈良市をおおむね2つに分け、中学校区で割当てております。

次に、ユーチューブのライブ中継です。昨年度も実施してはりましたが、参加の自粛であるとか何らかの理由で参加できない新成人の方への配慮として、当日来場できない方にも見ていただけますように、動画の配信をさせていただきたいと考えております。

裏面をご覧ください。先ほど申し上げましたように、今年の式典30分程度で終わるということで、このような内容で工面したいと思っております。

次に、「成人式における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について」という資料をご覧ください。改めまして、成人式における新型コロナウイルス感染症の拡大防止、感染防止のための対策についてご説明いたします。

柱立てとしては、会場に関する配慮、式典に関する配慮、新成人や関係者に関する配慮ということで考えております。

まず、会場についてですが、成人式に参加する新成人は検温を行っていただき、37.5度以上の熱がある方に関しては帰宅していただきます。それから、座席の間隔を空ける、手指の消毒を行っていただく、入退場時の新成人の滞りを避ける形で誘導させていただくことにしております。また、可能な限り会場の扉を開け、十分な換気も行い、演台やマイク前にはシールド状のものを設置をしようと考えております。そして、午前の部と午後の部の間に、椅子等の消毒をさせていただきます。以上が、会場に関する取組でございます。

次に、式典に関することですが、先ほども申し上げましたように、開催時間の短縮、また、来賓者についても、今年は基本的には来ていただかないという予定になっております。今のところ、市議会議長にご挨拶をいただき、副議長、所管の委員会の委員長に参加をいただきます。例年行っておりました会場の入り口でのウエルカムコンサートも中止し、国歌斉唱も独唱とし、新成人は歌唱しない予定としております。

次に、新成人、関係者に関することですが、式典当日に自宅で検温を行い、37.5度以上の熱がある方、もしくは風邪症状等の体調不良がある場合は参加をお控えいただくよう事前にお知らせしています。また、式典出席者は必ずマスク着用とし、新型コロナウイルス接触アプリCOCOAの登録もお願いしております。さらに、入場時の手指消毒を行います。また、今年は新成人の方がどの席に座っておられるかを、受付等

により把握し、万が一のときのための対策を講じており、終了後は、新成人に速やかに解散するように呼びかけます。

さらに、年が明けて改めて周知したこととして、1点目は、式典後の、飲み会や会食についてはやめていただくようお知らせしております。このことに関しては、式典当日も改めて会場の皆さんには注意するよう呼びかけいたします。

また、緊急事態宣言が検討されている1都3県の参加予定の新成人の皆様には、大変申し訳ないのですが、動画配信による式典参加のお願いとさせていただきます。

以上が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、成人式での対策として考えていることでございます。加えて、もう少し室内の会場の人数を絞る等、また、当日、新成人の皆様には色々な注意喚起や呼びかけをさせていただきます等、実施できればと考えております。

なお、会場の換気については非常に重要だと考えており、もともと開けられるドアは開けて開催するように考えておりましたが、加えて、学校の体育館で活用している置き扇風機を持ち込み、換気を少しでも向上させるよう予定しております。また、今週、善意の申出があり、大型の性能の良い空気清浄機を、成人式当日、無償で貸与していただける民間の事業者様がおられ、広い会場をカバーできる容量の空気清浄機も当日は置けるということで、今、準備作業を進めております。

このような対策、そして、新成人の方への呼びかけもさせていただきます、何とか無事に成人式を開催させていただきたいと考えております。

教 育 長

地域教育課長より、教育委員会事務局の見解とこれまで教育委員会の皆様にも適宜ご報告し、ご意見を頂戴したり、改善を付け加えたところも重ねてご説明をいたしました。教育委員会としてこの請願について、本日、採否を決定したいと考えており、委員の皆様方のご質問、ご意見等をお伺いしたいと思います。

1月5日にも、市のコロナウイルス本部対策会議等を踏まえて、各委員にも改めて意見の聴取をさせていただき、ここに至っているというところでございますので、また新たなことも含めて、ご意見等いただき、最終的に決めていきたいと思っております。

それでは、何かご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

畑 中 委 員

成人式における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策については、今、教育長がおっしゃったように、教育委員会の場であり、その他の機会においても、委員の中で意見調整し、論議もしてきたところでもあります。その上で、今、地域教育課長から説明をいただきましたが、もちろん専門家の方のご意見も聞いていただき、それを十分考慮した上で、本当に感染防止の対策、それから、安全面における対策につきましても、配慮が行われていると感じております。

私からですが、保健所長と、危機管理監に質問させていただきたいと思いますが、専門家といいますか、保健所長の目から見た会場内のこの感染対策ということにつきまして、どのようにお考えかということと、安全面についての配慮ということについて、危機管理監のほうにお聞きしたいと思います。

教 育 長

保健所長、よろしく申し上げます。

保 健 所 長

保健所長の佐藤です。

まず、請願者の方のお話をお聞かせいただき、感染と医療というもの、また、社会の在り方というものについて、その傾向ですとか一般的な動向、医療の動向というものを正しく捉えたものであると感じました。そして、委員の方のご質問にお答えするわけですが、教育委員会が準備しておられます対策、例えば、午前、午後に行うこと、時間を短くすること、これらは3密を防ぐという、一般に言われておりますようなソーシャルディスタンスを踏まえたものであると思いますし、手指の消毒を当初にさせていただくということ、また、席が離れている上に、この席は誰が座るといふようなところまで、把握されるということは、式典の最中、始まる前から式典が終わってからの時間も把握をされるということで、周到的な準備を考えておられると感じたところです。また、COCOAのようなアプリも導入を勧奨していただけるということでありました。私ども奈良市保健所では、PCR検査を行っており、既に9千人から1万人の方の検査をしております。その中で、COCOAの通知を見てやってこられたという方は、まだ2桁ですので、導入の時期というものがあるのですが、それでも、とても有用なアプリですので、多くの皆様方に導入していただければ導入していただけるほど効果を増すものとして、いろんな方に勧めていただけるのは、ありがたいと考えております。発熱の状況を見て、熱のある方には、あらかじめ出席を控えるように、また、会場でも熱を測る、そういった一般的な健康管理もされておられます。

私が、今申し上げたところ以外でも工夫をされていると思いますが、大変周到的な準備を進めておられる。だったら、その周到的な準備が、参加者の方々にも式典のときだけでなく、その後の生活の一部として感染症に備えていこうという気概を醸成することを、私は保健所職員として願っているところであります。

教 育 長

ありがとうございました。

それでは、危機管理監、申し上げます。

危 機 管 理 監

飛沫が飛び交う場面をいかに回避するかという観点では、先ほど保健所長からお話がありました。マスク、消毒、換気、検温あるいは間隔、さ

らには時間の短縮等、危機管理も一緒になりながら議論をしまりました。そういった感染防止対策をしっかりとやる中で、一番懸念をしておりましたことは、政府が急所と言っております飲食であります。この成人式の前後にいかにお酒をさせないか、その飲食につながる人の流れをいかに止めるかということで、ホームページを使って、まずは事前にしっかりと情報提供をしていただき、当日も二十歳の責任ということで、しっかりとご指導していただくということで、確認をさせていただいております。

最終的に、万が一感染をした場合の処置については、先ほど保健所長からもありました接触確認アプリCOCOAをインストールしていただくというのは、一つキーになると思っております。現在、まだ全国で2,300万人程度しかインストールしてないということで、ぜひCOCOAについては、この機会にしっかりとインストールをしていただきたいと認識をしているところです。

教 育 長

ありがとうございました。

ほか、委員のほうからご質問ないでしょうか。

柳 澤 委 員

先ほど緊急事態宣言のお話もあったと思うのですが、他の市町村の成人式の開催状況等、承知されてる範囲内で教えていただけますでしょうか。

地域教育課長

奈良県内の市は、奈良市を含めて12市ございます。県下の奈良市を除く他の11市の動向は昨日も照会をし、11市とも様々な感染対策は各市考えられておられますが、その上で予定どおり実施をする考えだということは確認させていただいております。それ以外の自治体についても、全てをお調べできるわけではありませんが、通常どおり行われるところも多いです。ただ、時期はそれぞれですが、例えば政令市でしたら、千葉市や広島市や熊本市は、中止、延期されるということ聞いておりますし、中核市でも中止や延期をされる自治体もあるということ聞いておりますが、奈良県の奈良市以外の11市については、感染対策を行った上で、予定どおり実施されるということで確認しております。

都 築 委 員

感染対策を取った上で成人式を開催するということで準備を進めていただいているのですが、やはり成人式が近づいてきますと、私の周辺でも、奈良市の成人式は今年はどうなるのかという、成人されるお子さんを持つお母さんですとか、当事者からも気になる声が聞かれるわけですが、いかがでしょうか。教育委員会の事務局のほうには、そうした市民からの声、あるいは当事者からの声が、何か届いていますでしょうか。

地域教育課長

地域教育課のほうに寄せられている新成人、それから保護者の声という

ことですが、ぜひやってほしいという声がたくさん来ているという状況ではありません。ただ、ちょっと延期をしたほうがいいのかとか、心配だという声ですとか、それから、そもそも今年は例年のように一堂に集まれず、少なくとも分散という対策は取らせていただきますので、代替の一斉に集まれる機会を落ち着いたときに持ちたいといったような声が、主に課のほうに寄せられています。

件数的には、12月いっぱいぐらいまでは日に1件あるかないかぐらいの頻度でしたが、年が明けて、1日に一、二件あるというような状況です。

私どもとしては、もう少し色々な声が、時期が近づいて増えてくるのかと思っていましたが、件数的にはそのような状況というところです。

梅田委員

危機管理監にご質問をさせていただければと思います。

今の状況というのは、ステージ2相当だということでもありましたが、

危機管理監

3です。

梅田委員

ステージ3という、その状況の中では、市主催のイベントは原則として中止すべきということでの判断が出ておりますが、原則中止ということに対して、そこはどのように考えていくということでしょうか。

危機管理監

市が定めております対策のガイドラインに基づき、イベントの開催については、ステージ1、ステージ2は、感染防止に配慮しながら開催、運営としております。一方、ステージ4、すなわち感染爆発段階になりますと、市主催のイベントは中止となっております。感染爆発段階は、まさに緊急事態宣言が発令をされるようなイメージのものでございます。その真ん中に、今ありますのがステージ3、感染急増段階であり、市主催イベントは原則中止という表現をしております。その内容につきましては、そのタイミングでやる必要性があるかどうかということと、感染防止の対策をしっかりと講じることができるといった視点で、そういったイベントを除いては原則中止ということによって表現をしているところでございます。

梅田委員

昨日出された緊急事態宣言におきましても、関東圏において出された段階であっても、子どもの学びを最大限保障するために感染対策の徹底を行って学校は休校しないという扱いとなっていることは、情報としてしっかりと流れているところだと思います。このことは、前回の全国一斉休校措置による学校を臨時休校することによっての負の影響の大きさが、様々な研究からも明らかになってきていることを受けた点と、相当年齢の感染リスクを総合的に考えての判断であろうと思います。反面、今、学校に対してはしっかりと感染対策が求められているが、教育的な

視点は、大切にしていこうということだと思います。ただ、今回、社会教育としての成人式を、教育的な視点ということのみで、実施ですよということはなかなか難しく、今、危機管理監からありましたように、リスクへの対応や、現在の医療体制がどうであるのかということも考えた上での判断が必要になってくるのではないかと思います。改めてこの成人式が、一生に一度の自分自身の生涯学習の大きな起点ともなるという、教育的な視点があり、この状況で実施に向けていくためには、集まることによる会場におけるリスクが限りなくゼロとなるように、様々なイベントや学校においても実施されている対策以上の対策を行っていくことが必要と考えます。

今の説明や危機管理監、そして保健所長からのご意見もいただきながら、その対策は、会場内においてはしっかりと行われていると判断ができると思いました。ただ、留意点にありました開催後の行動自粛を徹底して求めるという点においては、二十歳の責任として、当日のしっかりとした呼びかけと、その後の行動自粛を求めていかなければならないと思います。あわせて、開催において配慮を要する既往症を持つ方や、不安感を持つ方などがおられることは当然ですから、学校においても不安感を持つ場合には、学校に登校できないということに対しての教育の保障は行っていると同様に、その方に対しての選択肢をしっかりと準備をしていただきたいと思います。先ほどはユーチューブということもありましたが、もしもそれ以上のものがあれば、また教えていただければと思いますが、そこをしっかりとした上で判断していくべきだと思います。

請 願 者

教育長、ちょっと議論が抜け落ちてる点があるので、ちょっと補足をさせてもらっていいですか。先ほど陳述で述べたことなので。補足するだけなので。補足というか、繰り返すだけなので。先ほど意見陳述したところで、まだ議論されてないような部所。

教 育 長

それは、陳述者、抜けてる部分なんですか。

請 願 者

そう。私は言ってるんですけど、議論が抜け落ちてる。こうしてる間に言えることです。

教 育 長

この書面について、入ってますか。

請 願 者

入ってますよ。

教 育 長

繰り返しにならないように、端的にその部分のみを話してください。三橋市議お願いします。

請 願 者

いいですか。

教 育 長

はい、どうぞ。読み上げることでお願いします。

請 願 者

すみません、請願書にもありますように、成人式を実施することで、会場内の感染対策ということを中心に、事務局のほうはおっしゃっているわけですが、教育委員の先生方のおっしゃっているような事後的な宴会の防止という点では、ホームページに掲載するとか呼びかけるとか、そういうところで、担保がないわけです。会場内の対策に比しての、対策の担保という部分が弱いわけでありまして、しかも、その宴会を防止することができるかどうか焦点なのであって、成人式の会場そのものの感染リスクというのは、これまでの経験からも比較的低いということが明らかになっております。まず、宴会とか飲食を伴う会合につながるかどうかという観点、そして、それが1,000人とか2,000人とか集まるわけですから、それははっきり言って不可能だと思うんです。それを完全に防止するというのは。それをやって、感染者が発生したときにおけるその医療体制に対する逼迫、医療体制に与える悪影響、ここが北和地域における救急医療、あるいはコロナを受け入れる医療、これに比して大丈夫なのかという観点、これがまず1点目です。

2点目は、なぜ首都圏1都3県からの方だけを除くのか。大阪も京都も一緒なわけですから、なぜ1都3県からの方々の参加を除くのか。差別でないのかと、私は申し上げたわけですが、その点に関するご議論等、もう一度喚起したい。よろしくをお願いします。

教 育 長

今、もともと陳述書にも書いてありますことを述べられましたので、その観点についても、委員の皆様方は、含めてのお考えを述べていただきたいと考えておりますが、他にご意見ございますか。

柳 澤 委 員

私も、会場内のことは、セキュリティーとか感染対策はかなり万全にいけるという理解をしております。ただ、解散後の彼女たち、彼らたちがどうするかという点に多少不安が残るので、それについては、市長さんが頑張って、当日の会場参加者のそれぞれ一人ひとりの腑に落ちるような言い方で、大人になったことの意味と、自分が責任を持って、この現下の状況を考えると、グループで飲食に行くことがいいのかどうかは自分で判断するんだということまで、上から目線でいくと結果となって伝わらないのですが、そこをうまく胸に落ちるような言い方で、今年のご挨拶はしていただきたいと思います。ですから、これまでの歴史でかなり特例的な形になると思います。そのところも、恐らく市長は理解した上でのご決意であると思いますが、そういう点でやはり担当の職員が気をつけてねというだけではなく、何らかの積極的なメッセージが発せられることが必要だと思います。特に解散後の、大学等で言うとほとんど対面授業なしでやってきており、就職している人も当然いるのです

が、飲酒も大体駄目だということは、頭では分かっている、友達関係の中ではそれが守られるとは限らないと思います。そこをどう守っていただくように、その意味で、非日常、新たな日常を含んでいるところに踏み込む彼らにとっても分かるような、ある種説得力があると望ましいと思います。事務的に駄目ですよ、駄目ですよと言っても、なかなか通じない可能性も高いと個人的には思いますので、そこは一工夫、ぜひお願いしたいと思います。

都 築 委 員

今の柳澤委員の発言に関連してですが、やはりこれは一つの教育の場でもあると思うのです。小学校、中学校の先生方のお話を聞いておきますと、やはり今年度というのは、学校内でも学校行事等がかなり減ってしまい、それは、子どもたちにとっては、非常に成長の機会であったものが失われてしまったことが残念であるというお話をされていました。二十歳の責任ということですが、やはりこれからの彼らは、我々が生きていた時代とは違う時代を生きていかなければならない。そのスタート地点が本当にここだと思うのです。これから、先ほど保健所長もおっしゃいました、この式典のときだけでなく、その後の生活のことも考えて、ぜひこの成人式に参加をしてほしいし、そのための対策を我々大人は取っていかねばならないというお話でした。しかし、この一年振り返ると、大学のオンライン授業もそうですが、こういうことを言うと感情的なことになってしまうのかもしれませんが、やはり若者達から、温かさのようなものが奪われつつあるように思うのです。ですから、その飲食のことにしても、上から目線ではなくというお話がありましたが、やはり大人が若者を信頼しているよというようなこと、何かそういうメッセージがいますと思います。毎年成人式では多くの方々から温かいメッセージが送られますので、何かそんなふうな形ででも、みんなが君たちを信頼して、これからの社会を生きていく成人として頑張ってもらいたいと思っているというような、何かそういう温かいエールを届けるような場、それを大人の責任として持っていけるような、持っていただけるようにやってみないと、今、感じております。

請 願 者

首都圏からなぜなんだというところが、ご議論いただきたい。

教 育 長

請願者の不規則な発言はやめてください。

もう一点、奈良市が1月4日に1都3県の方にご遠慮いただくということについては、これは、東京都及び3県については、ステージが上がって、県境をまたいでの往来は控えるという場所にありますので、そこに呼応した形で、あえておられる方に戻ってきていただくことについてはご遠慮いただくということでもあります。ですから、1都3県に協力する体制で臨むということについてご協議をいただき、この成人式にもご参加を遠慮いただくということを加筆させていただいたというように認

識をしているし、皆さん方もそういうことであったというように思っています。東京、関東方面は、全てそこに居住をしているという考え方で。奈良から通っているとは考えにくいですので、そういうことで居住者についてはそうだとということでもあります。今回、近隣の大阪や兵庫、京都もなっていますが、今、大学の状況を把握してみますと、ほとんど開かれていなくて、オンラインを行っている。居住して、大学に通っている者より、通学している者も多いということの中で、その居住者について、県境をまたがるということについては、今後、大阪等の緊急事態宣言が出るとも、これは報道で聞いておりますので、日が僅かあと2日しかないというものの、十分そこは見ていかなければいけないと思います。

あと、ご意見ございませんでしょうか。

梅田委員

今のことに對しては、地域教育課のほうに、そこに居住される地域の方のほうから何かご連絡があったりなどということはないのでしょうか。

地域教育課長

1都3県の方には自粛をお願いしていますが、実際に1都3県にお住まいの新成人から、特に何か具体的な連絡は今のところありません。

教育長

ほか、ございませんでしょうか。

教育長

それでは、請願第1号「令和3年1月11日に予定されている成人式の延期等の適切な措置を求める」請願について、採決いたします。本請願の趣旨に賛同して、教育委員会として採択することに賛成の方はいらっしゃいますか。

教育長

それでは、請願第1号については、不採択とすることに決しましてご異議ございませんか。

教育委員

異議なし。

教育長

異議なしと認めます。

よって、請願第1号は、不採択とすることに決定いたしました。委員の皆さんのご指摘にもありましたように、感染対策に万全を期して実施するとともに、今後の情勢を見極め、今後も柔軟に対応できるよう準備を進めたいと思います。

これをもちまして、本日の教育委員会を閉会いたします。